

## 地すべりや山体崩壊に伴う津波の数値解析 Numerical simulation of tsunamis due to a landslide

吉川 諒<sup>1\*</sup>; 柿沼 太郎<sup>1</sup>  
YOSHIKAWA, Ryo<sup>1\*</sup>; KAKINUMA, Taro<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 鹿児島大学大学院理工学研究科  
<sup>1</sup> Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University

MPS法を適用し、地すべりや山体崩壊に伴う津波生成の数値解析を行なった。桜島の山体崩壊に伴う土砂流入を想定した場合、ここで設定した条件では、最大で10 m強の津波高さが算出された。津波高さは、流入土砂の総質量、初期形状の高さ及び長さや、流入速度に依存する。また、水面下で生じる地すべりでは、水に対する初期の相対的な位置エネルギーが大きいと、津波高さがあまり大きくならない。

キーワード: 津波, 地すべり, 山体崩壊, MPS法  
Keywords: tsunami, landslide, sector collapse, MPS method